

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

地区社協やまちづくりの会、単位町内会毎で従来から行われている活動は、主体的な住民活動として継続できている。地域住民の中に日頃からのつながりの重要性や高齢者の孤立防止、介護予防に対する共通認識も深まっていることが、活動の継続や新たな展開につながっていると思われる。これらの活動の継続支援のための新たな担い手づくりと、ニーズに添った活動の創出に努力する。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・5職種で連携し、「物的な社会資源」だけではなく、「人的な社会資源」についても把握し、それを活用できる仕組みづくりを行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・地域課題の共通認識を深めるため、住民等との協議をする場を広く作っていくよう働きかける。協議体や地域ケア会議を身近な地域で開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・自主事業を開始する際に、ゴールを定める。自主化できないものをそのまま続けるのではなく、見直し等を行う。 ・地域の人々が求めるものや課題に沿った事業展開を行い、地域活動に繋げる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・個別課題から見えてくる地域課題について、それぞれの職種の視点で検討し、共通認識を持つことで、連携して事業等を実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・認知症の人や当事者家族の活動の場を広げるために、カフェへの参加やボランティアでの参加促進を行う。 ・認知症の正しい理解の為に、サポーター養成講座や認知症についての出前講座の開催、ケアプラザ広報誌等を通じて地域への普及啓発をする。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・今年度は様々なデータを活用した地域アセスメントを行い、地域に点在する人材(資源)を「点」から「線」、「線」から「面」へ展開することを意識して、地域の活動支援等に取り組んだ。職員の欠員等配置に課題もあったが、職員間の共通認識と連携により事業運営は効率的に行えた。  
・自主事業では参加者による自主化の動きはあったが、具体的な活動にはつながらなかったため、主体的活動に向けて次年度も支援を継続していく。新たな住民主体の活動としては「くらしのお手伝い三之谷」が始まった。課題も上がってきているようなので、円滑な活動のための支援を続ける。  
・認知症の理解についての取り組みは、認知症サポーター養成講座を大人だけではなく小学生にも行い、幅広い年代に向けた啓発を心がけた。

区からのコメント

**【福祉保健課】**  
データを活用した地域アセスメントをケアプラザ内で職種を越えて検討することができています。また、住民の意見や課題を把握し、具体的な地域活動となるよう支援していただきました。  
次年度は、地域福祉保健計画の策定年度にも当たりますので、地域活動に関心が少なかったり、独自で活動をしており、連携していなかった住民や企業等ともつながりが生まれるよう、地域アセスメントを基に検討できる機会を作っていたくことを期待しています。

**【高齢・障害支援課】**  
虐待対応は、認定→介入も難しいですが、介入→分離して終わりとはならないケースが多く、家族関係者への継続的な対応を求められますが、家族関係者へのフォローもよく考えられています。引き続き高齢者の安心・安全確保・権利擁護及び加害者となってしまった介護者等への支援への取り組みをお願いします。8050問題は今後増加していくことが予想されますので、引き続き取り組みをお願いします。地域の社会資源等の情報を把握し共有することは、そこから見えてくる課題解決に向けた基礎であり第一歩だと思います。その一歩を既に踏み出していると思いますので、次年度はそれをさらに広げ、発展させる取り組みをしていただくことを期待します。また、区との連携も、さらに進め、情報共有を密にしていきたいと思っています。

令和元年度本牧和田地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回以上、全職員対象に公正・中立に関する研修を行います。</li> <li>・サービス事業者等の紹介に当たっては、特定の事業者等に偏らず、利用者のニーズに添って複数事業の紹介を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回以上、全職員対象に危機管理意識の向上、法令遵守に関する研修を行います。</li> <li>・ヒヤリハット報告から課題や傾向を分析し、事故防止等に活用します。</li> </ul>
実績	計画どおり実施しました。	計画どおり実施しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、実行できている。	介護認定を受けた利用者が、可能な限り在宅で自立した日常生活をおくるため、必要なサービスを適切に利用できるよう、利用者及び家族の選択に基づいた計画を作成し、実行できている。										
職員体制	看護師(管理者)1名 主任介護支援専門員1名	主任介護支援専門員(管理者)1名 介護支援専門員2名										
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	114	112	108	111	112	113	94	92	83	88	85	85
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	115	116	117	107	106	101	75	76	51	46	55	46

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護										
目標	利用者の意思を尊重し、個別性に配慮した計画を作成し、自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)を営むことができるよう支援します。	利用者の意思を尊重し、個別性に配慮した計画を作成し、自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)を営むことができるよう支援します。										
実施体制	<b>【実施日数】</b> 週6日 <b>【提供時間】</b> 9:30~15:30 <b>【定員】</b> 35人	<b>【実施日数】</b> 週6日 <b>【提供時間】</b> 9:30~15:30 <b>【定員】</b> 35人										
実費負担	なし	なし										
職員体制	管理者1名・生活相談員3名・介護職員11名 看護師兼機能訓練指導員4名・運転員3名	管理者1名・生活相談員3名・介護職員11名 看護師兼機能訓練指導員4名・運転員3名										
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	551	579	520	562	551	480	61	61	51	60	61	49
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	507	485	416	408	418	393	53	48	41	35	35	37

平成31年度「横浜市本牧和田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	
指定管理料	14,806,241		14,806,241	14,806,241	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料			0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他 (指定管理料充当)	0		0		0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	18,393,741	0	18,393,741	18,393,741	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,544,000	0	10,544,000	10,676,848	△ 132,848	
本俸	6,964,000		6,964,000	6,905,497	58,503	
社会保険料	1,039,000		1,039,000	982,460	56,540	
手当計	2,484,000		2,484,000	2,298,505	185,495	
健康診断費	51,000		51,000	50,693	307	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,000	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	0		0	433,693	△ 433,693	
事務費	1,573,000	0	1,573,000	1,551,760	21,240	
旅費	10,000		10,000	2,384	7,616	職員出張時交通費
消耗品費	215,000		215,000	255,111	△ 40,111	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	224,000		224,000	222,279	1,721	
通信費	380,000		380,000	363,737	16,263	郵送料、通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	260,000		260,000	260,820	△ 820	複合機・パソコンリース料
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	45,000		45,000	46,574	△ 1,574	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	5,000		5,000	20,603	△ 15,603	
リース料	5,000		5,000	2,303	2,697	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	424,000		424,000	377,949	46,051	物品修理、委託費、保守費、諸会費
事業費	292,000	0	292,000	387,075	△ 95,075	
運営協議会経費	42,000		42,000	4,841	37,159	予算：指定額
指定管理料充当 事業	250,000		250,000	382,234	△ 132,234	
管理費	4,972,471	0	4,972,471	3,982,708	989,763	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	3,267,471	0	3,267,471	2,476,361	791,110	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	519,000		519,000	700,670	△ 181,670	
修繕費	474,000		474,000	49,487	424,513	予算：指定額
機械警備費	234,000		234,000	225,679	8,321	
設備保全費	214,000	0	214,000	214,106	△ 106	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	214,000		214,000	214,106	△ 106	
共益費	0		0	0	0	
その他	264,000		264,000	316,405	△ 52,405	
公租公課	1,012,270	0	1,012,270	0	1,012,270	
事業所税			0		0	基本的に、この行は入力しません
消費税	1,012,270		1,012,270	0	1,012,270	
印紙税			0		0	基本的に、この行は入力しません
その他 ( )			0		0	基本的に、この行は入力しません
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	基本的に、この行は入力しません
本部分			0		0	基本的に、この行は入力しません
当該施設分			0		0	基本的に、この行は入力しません
二一対対応費			0		0	基本的に、この行は入力しません
支出合計	18,393,741	0	18,393,741	16,598,391	1,795,350	
差引	0	0	0	1,795,350	△ 1,795,350	

自主事業費収入			0	209,950	△ 209,950	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	592,184	△ 592,184	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 382,234	382,234	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成31年度「横浜市本牧和田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,341,788		23,341,788	23,341,788	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	152,400		152,400	152,400	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,792,000		5,792,000	5,792,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0		0	基本的に、この行は入力しません
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
駐車場利用料金収入	0		0		0	基本的に、この行は入力しません
その他（指定管理充当分）	0		0		0	
その他（提案時控除 法人負担分）	1,150,000		1,150,000	1,150,000	0	
収入合計	30,436,188	0	30,436,188	30,436,188	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,189,400	0	27,189,400	27,719,937	△ 530,537	
本俸	14,259,000		14,259,000	15,119,900	△ 860,900	
社会保険料	3,472,000		3,472,000	3,238,247	233,753	
手当計	9,339,400		9,339,400	8,324,560	1,014,840	
健康診断費	95,000		95,000	127,237	△ 32,237	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	22,000	2,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0	887,993	△ 887,993	
事務費	803,788	0	803,788	701,086	102,702	
旅費	23,000		23,000	27,948	△ 4,948	職員出張時交通費
消耗品費	205,000		205,000	120,190	84,810	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	310,000		310,000	279,714	30,286	郵送料、通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	160,000		160,000	147,420	12,580	複合機・パソコンリース料
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	46,000		46,000	46,574	△ 574	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	20,000		20,000	16,560	3,440	
リース料	5,000		5,000	9,213	△ 4,213	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	10,000		10,000	53,467	△ 43,467	
事業費	1,114,000	0	1,114,000	876,890	237,110	
協力医	630,000		630,000	588,000	42,000	予算：指定額
指定管理料充当事業（包括）	24,000		24,000	9,397	14,603	
指定管理料充当事業（介護予防）	151,000		151,000	156,875	△ 5,875	
指定管理料充当事業（生活支援）	309,000		309,000	122,618	186,382	予算：指定額
管理費	1,329,000	0	1,329,000	1,058,687	270,313	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	875,000	0	875,000	658,273	216,727	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	139,000		139,000	186,253	△ 47,253	
修繕費	126,000		126,000	13,153	112,847	予算：指定額
機械警備費	64,000		64,000	59,989	4,011	
設備保全費	55,000	0	55,000	56,913	△ 1,913	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	55,000		55,000	56,913	△ 1,913	
共益費	0		0	0	0	
その他	70,000		70,000	84,106	△ 14,106	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	基本的に、この行は入力しません。
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	30,436,188	0	30,436,188	30,356,600	79,588	
差引	0	0	0	79,588	△ 79,588	

自主事業費収入	0		0	0	0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	9,397	△ 9,397	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 9,397	9,397	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成31年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市本牧和田地域ケアプラザ

平成31年4月1日～平成32年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	0	0	0	3,000	3,307	-307	19,550	14,372	5,178	75,300	60,475	14,825	0	0	0
	その他	3,400	3,211	189	0	0	0	530	429	101	638	734	-96	3,600	3,034	566
	事業・負担金収入	3,400	3,211	189	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,600	3,034	566
	受託事業収入	0	0	0	0	0	0	350	259	91	0	0	0	0	0	0
	その他事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	331	340	-9	0	0	0
	利用者等外給食費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	270	310	-40	0	0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	0	180	170	10	37	84	-47	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	<b>収入合計(A)</b>	3,400	3,211	189	3,000	3,307	-307	20,080	14,801	5,279	75,938	61,209	14,729	3,600	3,034	566
支出	人件費	0	0	0	0	0	0	16,779	14,571	2,208	53,464	54,539	-1,075	0	0	0
	事務費	0	0	0	73	40	33	527	413	114	11,424	11,276	148	0	0	0
	事業費	0	0	0	0	0	0	0	51	-51	7,812	7,140	672	0	0	0
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,792	4,880	-88	0	0	0
	その他	2,160	2,079	81	2,160	2,050	110	21	0	21	5,491	5,324	167	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	21	0	21	6	0	6	0	0	0
	介護予防プラン委託料	2,160	2,079	81	2,160	2,050	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設使用相当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,588	3,587	1	0	0	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	0	200	0	0	0
	リース債務の返済支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,427	1,427	0	0	0	0
利用者等外給食費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	270	310	-40	0	0	0	
	<b>支出合計(B)</b>	2,160	2,079	81	2,233	2,090	143	17,327	15,035	2,292	82,983	83,159	-176	0	0	0
	<b>収支 (A)-(B)</b>	1,240	1,132	108	767	1,217	-450	2,753	-234	2,987	-7,045	-21,950	14,905	3,600	3,034	566

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

本牧和田地域ケアプラザ

令和元年度 自主事業計画書・報告書

事業	1 地域活動交流事業	5 共催(1と3)
	2 地域包括支援センター運営事業	6 共催(2と3)
	3 生活支援体制整備事業	7 3事業共催(1と2と3)
	4 共催(1と2)	

事業の性質 1 優先的に取り組みが求められる事業

対象者	1 高齢者	5 地域
	2 障害児・者	6 事業者
	3 養育者及び乳幼児	7 その他
	4 子ども・青少年	

番号	事業名	開始年度	事業	主な対象者	従たる対象者	事業の性質	事業目的	事業内容・実施時期	実施回数	参加人数
1	楽笑サロン さつき会 (高齢者運動・健康づくりサロン)	H19	1 地域交流	1 高齢者		1 優先的に取り	運動プログラムと定期的な外出機会の提供を通して、在宅高齢者の運動習慣と他者との交流機会を維持し、閉じこもり生活を防ぎ、介護予防を促進する。	運動講師指導のもと、椅子に座ってできるストレッチ運動とベタンク等のレクリエーション。 通年毎週(火) 13:30~15:00 地域の小中学生との交流の場としても活用	46	459
2	認知症予防学習・交流サロン「なごみ」 臨床美術「アートでなごみ」	H22	1 地域交流	1 高齢者		1 優先的に取り	音読、計算等を行う学習時間や臨床美術士が提供する美術プログラムと参加者同士の交流を通して在宅で暮らす高齢者の認知症及びその他の認知機能障害を予防する。定期的な外出機会と交流の場の提供により、地域での孤立・閉じこもり生活を予防する。	①音読、計算等を行う学習プログラム ②臨床美術士が提供する美術プログラムの実施 ①②共通プログラム ・参加者同士の歓談やレクリエーションによる交流、情報交換 ・健康な生活を送るための情報提供 ・子育てサロンに参加する親子との交流 通年毎週(木)10:00~12:00	44	609
3	子育てサロン	H17	1 地域交流	4 子ども		1 優先的に取り	子育て中の親子が集える場の提供をすることで、地域の養育者や子ども同士の交流を促進する。参加者同士の情報交換、育児イベント等の情報提供を通し、養育者の孤立を予防する。	子育て中の親子で集えるサロン形式で実施。主任児童委員、民生委員児童委員と連携し運営する。 通年・毎月第3木曜日 10:00~12:00開催	11	164
4	男の料理	H19	1 地域交流	7 その他		1 優先的に取り	団塊・シニア世代男性の地域活動参加へのきっかけとなる場の提供。男性同士が調理・昼食会を通して地域の中での仲間作りを行う。	調理をする機会の少ない男性が、自分たちでも出来るように、ボランティアやCP職員の支援を受け、買い物~片づけまで一連の調理を行う。 また、歓談しながら食事をして交流をはかる。 *4月・6月・10月・2月 第4土曜日	5	40
5	お散歩カフェ ホッと	H28	5 共催(1と3)	5 地域		1 優先的に取り	独居や閉じこもりがちな高齢者等を含め、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指す。またボランティア等の活動を支援する。	「誰もが立ち寄れるカフェ」として、開催。地域で活動する団体等をゲストとして招き、歌や講話などを行うこともある。また、カフェのサポーターとして活動する団体が、手作りの茶菓等を提供したり手作業等を実施したりする活動の場としても活用。 通年・毎月 第3水曜日 13:00頃~15:00	11	279
6	Go Go健康! 介護予防講座 介護予防普及強化 業務委託事業	H18	2 包括	1 高齢者		1 優先的に取り	介護予防の普及啓発。体力づくりや口腔、栄養などの講座を行うことで、できるだけ要支援、要介護状態にならないことや住み慣れた地域で生活が継続できることを目指す。	①本牧和田CP: 毎月第2・第4(金) *8月3月休会 13:30~15:00 ②圏域内の町内会館等5ヶ所 開催日時調整中	39	465
7	介護者のつどい	H26	2 包括	5 地域		2 発展させるね	高齢者等の介護者を対象に、日頃の介護疲れを癒し、また同じ悩みや経験を持つ介護者と交流することで在宅介護の継続を図る。	①介護者が介護についての悩み等を話し合い、また情報交換を行う。 ②医療や介護の専門職等が介護に役立つような講義や助言を行う。 ③介護者が精神的に安定しリラックスできるような講座の実施 ④その他 ○年3回程度 本牧和田CPにて開催	3	9
8	認知症サポーター養成講座	H25	2 包括	5 地域		2 発展させるね	認知症になっても住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活を続けるために、認知症の正しい知識と対応方法を知り、地域ネットワークの構築強化と地域のニーズに対応できる力を養う。	①地域の認知症キャラバンメイトと協力し、養成講座を実施。 ②地域の団体等や小中学校等に向けて、講座開催の案内をする。 ③認知症サポーター養成講座を修了した人が活動する場の提供 ④その他 必要な活動	2	91
9	みんなdeごはん	H30	3 生活支援体制	1 高齢者		1 優先的に取り	高齢者等の孤食を防止高齢者が気軽に食事ができる場所の提供と、社会参加することにより生きがいに繋げる。担い手についても社会参加・社会貢献を通じ支え合いのネットワークが広がることを目指す。	地域の協力者とともに、一緒に作り一緒に食べる。また「食」を考える場としても活用するため、協力者から食材の提供(フードドライブ)なども実施している。今後は自主化も目指し活動。 外出が難しい人には送迎等の支援を行う。 *奇数月の第4土曜日	5	90
10	地域ケア会議	H26	7 共催(1と2と3)	5 地域		1 優先的に取り	住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活を続けることができるように地域ネットワークの構築強化。	①個別レベル会議を通じて地域課題を把握する。(年2~3回程度) ②包括レベル会議で地域課題を地域住民や多職種で検討する。(年1回程度)	1	7

